

質問順位 1 菅野博子 (一問一答式)

1 都市整備行政

(1) 鴻巣駅東口再開発事業への市長の政治姿勢

ア (株)エルミ鴻巣

(ア) 市費の投下の実態と今後の採算性を数値で市民に示せ

(出資金7億240万円 借入金6億8000万円

2012年3月計画 900万円の余剰金)

(イ) この間の空床への対応、将来の見通し

イ 鴻巣駅東口駅通り地区再開発事業

(ア) 施設計画がいつ示されるか、公共公益とは何か、市が組合員にならない事。評価監視委員会も開かず大手デベロッパー任せでよいのか。

(イ) 「長谷工」から1億円を借りるというが、必要経費は理事が責任をもって調達すべき

(ウ) 公正な入札をどう保証するのか

(エ) 日照、風害、何よりマンションはもういらぬの市民の声をどう反映するのか

2 福祉行政

(1) 赤見台近隣公園への総合病院誘致について市長の政治姿勢を問う

ア 住民説明会の声にどう応えるのか

(・住宅地と一体で整備された経緯 ・防災上の必要性 ・マスタープランや基本計画の意義 ・将来の人口減を見込んだ多様な医療行政 ・市全体での病院配置を検討すべき)

イ 公募もせず上尾中央医科グループへの無償貸与の根拠

ウ 市民の意見書や提訴にどう応えるのか

エ 病床割り当てへの県議会への対応

(2) 寡婦控除みなし適用を

(3) 徘徊対策の反射ステッカーの配布

3 経営政策行政

(1) こうのとり飼育

ア 今後の資金計画、人材、荒川中流域の関係機関、農業者、市民生活などの方向性

イ 多大な経費が見込まれる場合は見直すべき。事業の成否をいつの時点で行うのか

ウ 花火大会とどう両立させるのか

エ 今日の増税、物価高、福祉切り捨て、年金減など市民の生活苦しさを救う事を第一義とする政治に変える事

質問順位 2 岡田恒雄 (一括質問・一括答弁式)

1 経営政策行政

- (1) 合併10周年を迎えるにあたって
 - ア 合併算定替について
 - (ア) 合併後の新鴻巣市としての算定額
 - (イ) 1市2町がそのまま存続し続けたものとしてその算定額
 - (ウ) (ア)・(イ)のどちらか有利な算定額が措置され、また合併後一定期間この算定方法が保障され、さらに5年間この激変緩和措置がされるがその額
- (2) 合併市、新支援策について
 - ア 本市の交付金加算額及び根拠は
- (3) 新市建設計画について
 - ア 施策別戦略的・重点プロジェクト事業の進捗について

2 総務行政

- (1) 自治体の予算編成改革について
 - ア 本市の当初予算における繰越金について
 - (ア) 過去の状況と金額について
 - (イ) 他市の状況について

3 市民協働行政

- (1) 第9次鴻巣市交通安全計画について
 - ア 交通安全都市宣言にふさわしい施策と課題について
 - イ 自転車レーン設置と自転車道の整備について
 - ウ 自転車・マナー条例制定について

質問順位 3 金子雄一 (一括質問・一括答弁式)

1 環境行政について

- (1) 本市における中小企業の省エネルギー対策等について
 - ア 本市の中小企業の状況
 - イ 中小企業に対する助成等の現状
 - ウ 他市の状況
 - エ 対策推進にあたり問題点や課題等
 - オ 今後の方向性

2 総務行政について

- (1) 職員体制について

- ア 経過状況
- イ 現状は（役職・男女・年齢層等）
- ウ 再任用職員や臨時職員はどのような状況か
- エ 他市等との比較
- オ 何を持って適正数と考えるか
- カ 今後の方向性

3 教育行政について

- (1) 小・中学校における省エネルギー等に関する教育について
 - ア どのような教育を行っているか
 - イ 教育に対する児童生徒の受け止め状況は
 - ウ 今後の展開

質問順位 4 加藤久子 （一問一答式）

1 市民協働行政について

- (1) 各種イベントについて
 - ア 開催当日の案内について

2 都市整備行政について

- (1) 鴻巣駅東口再開発事業について
 - ア 総事業費のうち、市の実質投下額が議会答弁と市民への回答と違うことについて
 - イ 5億円の貸付について
 - ウ 情報公開について
 - エ 資本金について

3 福祉行政について

- (1) 子ども・子育て支援新制度について
 - ア 保育士の人数を増やすことについて
 - イ 常勤保育士の確保について
- (2) 保育料金について
 - ア 認定された保育必要量を超えた保育料について
- (3) 市民への説明について
- (4) 放課後児童健全育成事業について
 - ア 運営のための基準について

4 教育行政について

- (1) 教員の多忙による健康管理について
 - ア 教頭の多忙化について
 - イ 教員の精神疾患の状況について